

平成21年度 社団法人滋賀県建築士会 専攻建築士審査・登録更新 誓約書(様式1)

※受付No. _____

専攻建築士登録No. _____

私は、専攻建築士制度の登録更新をしたいので、審査・登録の更新を申請をします。
私は、この審査・登録更新申請書に記入した事項および添付した書類の内容が真実で、かつ正確であることを誓います。また、(社)日本建築士会連合会「専攻建築士制度」規則並びに「建築士会会員倫理規定」を遵守し、建築資格者として常に研鑽を心がけ、自己の業務・行動について責任を負うことを同意します。

なお、この審査・登録更新申請書及び添付書類の内容が事実と相違がある場合には、登録を取消されても異存ありません。専攻建築士として登録後、上記同意に反した場合には、登録を抹消されても異存ありません。

写真欄
縦3.0cm×横2.4cm
無帽・無背景・正面
上3分身を写した
証明写真
(裏面に名前記入)
平成__年__月撮影
(最近3ヶ月以内のもの)

社団法人 日本建築士会連合会 会長 殿

社団法人 滋賀県建築士会 会長 殿

申請者氏名(自署)

建築 太郎



■現専攻建築登録内容 (有効期限 2010年3月31日)

専攻領域	限定表示	専門分野	
1. まちづくり専攻建築士			
2. 設計専攻建築士		戸建住宅	集合住宅
3. 構造専攻建築士		—	—
4. 環境設備専攻建築士			
5. 生産専攻建築士			
6. 棟梁専攻建築士			
7. 法令専攻建築士			
8. 教育研究専攻建築士			

■更新申請領域内容

※該当する専攻領域に○印を、継続希望の専門分野をご記入下さい。

なお、平成21年度より限定表示を必須専門表示分野とさせていただきますので、新専門分野一覧表をご確認いただきご記入下さいますようお願いいたします。

専攻領域	専門分野	
1. まちづくり専攻建築士		
2. 設計専攻建築士	戸建住宅	集合住宅
3. 構造設計専攻建築士	—	—
4. 環境設備設計専攻建築士		
5. 生産専攻建築士		
6. 棟梁専攻建築士		
7. 法令専攻建築士		
8. 教育研究専攻建築士		

■申請形式をご記入下さい。(登録更新申請フロー図にて、当てはまる項目に○印願います)

①. 実務3件、CPD200単位を満たす方	<input checked="" type="radio"/>
②. 30年以上で特別認定講習受講又はCPD40単位	<input type="radio"/>
③. 30年以上で更新日までに基準を満たせる方	<input type="radio"/>
④. 30年未満で更新日までに基準を満たせる方	<input type="radio"/>

専攻建築士登録更新申請書 (様式2)

専攻建築士登録No. 1270300000		会員No. 1000000		※ 受付No.	
ふりがな けんちく たろう		生年月日 1941年 10月 1日		本籍地	
氏名 建築 太郎		(67) 歳 性別 男 ・女		滋賀 都・道 府 ・県	
写真欄 縦3.0cm×横2.4cm 帽・無背景・正面 上3分身を写した 証明写真 (裏面に名前記入)	現住所 大津市 におの浜 〇〇 5-6-7				
	〒 520-〇〇〇〇 TEL 077-522-1001 FAX 077-523-1000				
	勤務先 建築太郎設計事務所		※<勤務先掲載可>・不可>		
	所属部署		役職 所長		
	所在地 大津市 におの浜 〇〇 3-2-1				
平成__年__月撮影 (最近3ヶ月以内のもの)		〒 520-〇〇〇〇 TEL 077-522-0000 FAX 077-523-0001		E-mail http://www.sekkei-taro.ne.jp	
建築士 資格登録	一級建築士登録番号 No. 222222		昭和 平成 51 年 12 月 23 日登録		
	二級・木造(都道府県名 滋賀県) No. 55555		昭和 平成 48 年 12 月 20 日登録		
	構造設計・設備設計一級建築士 No.		平成 年 月 日合格		
最終学歴	卒業年	昭和 年 月	学校名		
	学部学科名				
その他の学歴 (大学院等)	昭和 48 年 3 月 〇〇 大学建築学科				
現在の 業務内容	職域(1) ※ 最も主と思われる職域、職務を一つだけ選び、その数字を記入して下さい。 1. 建築士事務所、2. 構造設計事務所、3. 設備設計事務所、4. 積算事務所、5. コンサルタント、 6. 建設業、7. プレハブ住宅業、8. 製造業、9. 金融/保険業、10. 商業、11. 不動産業 12. 官公庁、13. 公社・公団等、14. 学校、15. その他()				
右の該当するもの各1つを選択してください	職務(5) 1. 構造設計、2. 設備設計、3. 積算見積、4. 調査・鑑定・企画、5. 建築設計一般、監理、 6. 工事監理、7. 都市計画、8. 技能労務(大工など)、9. 現場管理、10. 経営、 11. 営業・販売、12. 試験・研究、13. 維持管理、14. 建材製造・開発、 15. 代理業務(代願)、16. 行政、17. 教育、18. その他				
他の 所属団体	(社)日本建築学会				
他建築関連 資格(取得 年)、受賞履 歴・著者論文等	(社)商業施設技術者・団体連合会 商業施設士 登録番号 1234 登録年 1986年				
	※以下の資格をお持ちの方は□にチェックを入れ、登録年を記入して下さい。 <input type="checkbox"/> 一級建築施工管理技士(登録____年) <input type="checkbox"/> 建築設備士(登録____年) <input type="checkbox"/> 一級電気工事施工管理技士(登録____年) <input type="checkbox"/> 一級管工事施工管理技士(登録____年)				
社会活動	滋賀県応急危険度判定員登録				
建築(業務) に関する考え 方・心がけて いる事	建築地の周辺環境に配慮して、建築主からの要望に沿うデザインコンセプトを心掛けています。				

※専攻建築士名簿は公表することが前提ですがホームページ等に勤務先の掲載を拒否する場合は不可を○で囲んでください。

※申請書に記載された個人情報、申請に伴う業務(申請・審査のための連絡、結果の送付、登録証の交付及び登録証の管理のため)に使用いたします。また、個人情報は、個人情報保護法に基づき、適切に管理いたします。

※名簿等公開拒否欄 公開したくない項目に×印を付けて下さい

勤務先名	勤務先TEL	MAIL	他所属団体	他資格	建築の考え方	社会活動	HP URL	CPD参加者名簿への登録
	×							

建築士免許取得後の30年を超える職務経歴書 (様式3)

専攻建築士登録No.	1270300000
氏名	建築 太郎

- 建築士免許取得時から30年を超える勤務・職務経歴についてご記入願います。
 ※現在から過去(免許取得時)まで遡ってご記入願います。

項目	勤務先名称、担当期間等		業務内容
1	勤務先名称	〇〇〇建設(株) 設計本部 開発課 副部長	設計部門の技術開発の統括業務を担当
	就業期間	2005年 4月 ~ 2009年 10月まで計 47ヶ月	
	職務上の立場	・担当者 ・責任者()	
2	勤務先名称	〇〇〇建設(株) 設計本部 企画課 課長	設計部門の組織企画を担当
	就業期間	2001年 4月 ~ 2005年 3月まで計 48ヶ月	
	職務上の立場	・担当者 ・責任者()	
3	勤務先名称	〇〇〇建設(株) ▲▲支店 設計部 主任	設計施工案件の設計・工事監理業務の担当 オフィスビルを中心に設計・工事監理を主任の 立場で実施
	就業期間	1996年 4月 ~ 2001年 3月まで計 60ヶ月	
	職務上の立場	・担当者 ・責任者()	
4	勤務先名称	〇〇〇建設(株) ■■■■支店 設計部 主任	設計施工案件の設計・工事監理業務の担当 事務所を中心に設計・工事監理を主任の 立場で実施
	就業期間	1990年 4月 ~ 1996年 3月まで計 72ヶ月	
	職務上の立場	・担当者 ・責任者()	
5	勤務先名称	〇〇〇建設(株) 設計部 設計課	1968年に入社 主に商業施設の工事監理等を担当
	就業期間	1974年 11月 ~ 1990年 3月まで計 193ヶ月	
	職務上の立場	・担当者 ・責任者()	
合計年数		35年 ヶ月	

- 士法22条の2定期講習、士会22条の4特別認定講習
 受講確認
 講習受講券、受講証明書又は、テキストの表紙コピーを添付して下さい。

受講券等コピー 貼り付け	講習名称:
	受講日時:
	受講場所:

責任ある立場での実務実績3件申請書(様式3-1 まちづくり)

注意 1. 1枚に1専攻のみを記入。

2. 業務の該当項目に■で塗り潰して下さい。

3. 実務実績3件は、登録更新申請時から20年間遡ることができます。

4. 前回申請した実務実績と異なる場合は「様式4」も記入して下さい。

氏名	建築 太郎
専門分野	
1	都市デザイン
2	再開発
3	まちづくりコーディネーター

まちづくり	業務(プロジェクト)名 〇〇市土地区画整理事業		実務内容
	プロジェクト概要 委員		<input type="checkbox"/> 都市計画 <input type="checkbox"/> 再開発事業 <input checked="" type="checkbox"/> 区画整理事業 <input type="checkbox"/> 開発行為
	担当期間	2004年4月 2005年3月(12ヶ月)	<input checked="" type="checkbox"/> まちづくり活動 まちづくり計画 <input type="checkbox"/> その他
役割	<input type="checkbox"/> 責任ある立場 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者	専門分野名	
2	業務(プロジェクト)名 東京建築士会まちづくり委員会活動 地域貢献活動基金対象事業審査		実務内容
	プロジェクト概要		<input checked="" type="checkbox"/> 都市計画 <input checked="" type="checkbox"/> 再開発事業 住棟設計及び街区調整、街区間隔調整業務 <input type="checkbox"/> 区画整理事業 <input type="checkbox"/> 開発行為
	担当期間	2006年4月 2007年3月(12ヶ月)	<input type="checkbox"/> まちづくり活動 <input checked="" type="checkbox"/> その他 支援事業審査員としての活動
役割	<input type="checkbox"/> 責任ある立場 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者	専門分野名	
3	業務(プロジェクト)名 〇〇地区まちなみ景観整備 基本計画		実務内容
	プロジェクト概要		<input checked="" type="checkbox"/> 都市計画 <input type="checkbox"/> 再開発事業 <input type="checkbox"/> 区画整理事業 <input type="checkbox"/> 開発行為
	担当期間	2007年6月 2008年7月(13ヶ月)	<input checked="" type="checkbox"/> まちづくり活動 <input type="checkbox"/> その他
役割	<input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名 まちづくりコーディネーター	

添付可能な写真があれば添付して下さい。

責任ある立場での実務実績3件申請書(様式3-1 設計・**構造**・環境設備)

※専攻領域に○印願います。

注意 1. 1枚に1専攻のみを記入。

2. 業務の該当項目に■で塗り潰して下さい。

3. 実務実績3件は、登録更新申請時から20年間遡ることができます。

4. 前回申請した実務実績と異なる場合は「様式4」も記入して下さい。

氏名	建築 太郎
専門分野	
1	
2	
3	

構造	業務(プロジェクト)名 〇〇会社耐震診断	実務内容 <input type="checkbox"/> 企画設計 <input type="checkbox"/> 基本設計 <input type="checkbox"/> 実施設計 <input type="checkbox"/> 工事監理 <input type="checkbox"/> 空調設備 <input type="checkbox"/> 給排水衛生設備 <input type="checkbox"/> 電気設備 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (耐震診断 一次及び二次診断)
	プロジェクト概要 本社ビルの耐震診断	規模構造 <input checked="" type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造
	担当期間 2002年1月 2002年12月(12ヶ月)	階数 地上 3 階、地下 階、延床面積 680 m ²
役割	<input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名 耐震診断・補強
2	業務(プロジェクト)名 〇〇総合病院保健施設	実務内容 <input type="checkbox"/> 企画設計 <input type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input type="checkbox"/> 工事監理 <input type="checkbox"/> 空調設備 <input type="checkbox"/> 給排水衛生設備 <input type="checkbox"/> 電気設備 <input type="checkbox"/> その他 ()
	プロジェクト概要 免震建物	規模構造 <input checked="" type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造
	担当期間 2002年11月 2004年2月(16ヶ月)	階数 地上 5 階、地下 1 階、延床面積 4,000 m ²
役割	<input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名
3	業務(プロジェクト)名 〇〇邸及びマンション新築工事	実務内容 <input checked="" type="checkbox"/> 企画設計 <input checked="" type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 <input type="checkbox"/> 空調設備 <input type="checkbox"/> 給排水衛生設備 <input type="checkbox"/> 電気設備 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (構造設計・構造計算)
	プロジェクト概要 専用住宅兼集合住宅	規模構造 <input checked="" type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造
	担当期間 2004年3月 2005年7月(17ヶ月)	階数 地上 2 階、地下 階、延床面積 267 m ²
役割	<input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名

添付可能な写真があれば添付して下さい。

責任ある立場での実務実績3件申請書(様式3-1 **生産** ・ 棟梁)

※専攻領域に○印願います。

注意 1. 1枚に1専攻のみを記入。

2. 業務の該当項目に■で塗り潰して下さい。

3. 実務実績3件は、登録更新申請時から20年間遡ることができます。

4. 前回申請した実務実績と異なる場合は「様式4」も記入して下さい。

氏名	建築 太郎
専攻領域	
1	集合住宅
2	維持管理
3	

生産	業務(プロジェクト)名 〇〇集合住宅新築工事	業務内容: ■施工管理(●品質・技術 ●工程 ●コスト ●安全 ○その他[]) □積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) ■維持管理業務 □改修・リフォーム □診断 □その他 ()
	プロジェクト概要	規模構造 ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数 地上 3 階、地下 階、延床面積 2,815 m ²
	担当期間 2002年1月 2002年12月(12ヶ月)	
役割	□責任ある立場 ■担当者	専門分野名 集合住宅・維持管理
2	業務(プロジェクト)名 〇〇ハイム改修工事	業務内容: □施工管理(○品質・技術 ○工程 ○コスト ○安全 ○その他[]) □積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) ■維持管理業務 ■改修・リフォーム □診断 □その他 ()
	プロジェクト概要	規模構造 ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数 地上 8 階、地下 階、延床面積 6,803 m ²
	担当期間 2002年11月 2004年2月(16ヶ月)	
役割	■責任ある立場 □担当者	専門分野名
3	業務(プロジェクト)名 〇〇マンション改修工事	業務内容: ■施工管理(●品質・技術 ●工程 ●コスト ●安全 ○その他[]) □積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) □維持管理業務 ■改修・リフォーム □診断 □その他 ()
	プロジェクト概要	規模構造 ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数 地上 階、地下 階、延床面積 2,379 m ²
	担当期間 2004年3月 2005年7月(17ヶ月)	
役割	■責任ある立場 □担当者	専門分野名

□添付可能な写真があれば添付して下さい。

責任ある立場での実務実績3件申請書(様式3-1 法令)

注意 1. 1枚に1専攻のみを記入。

2. 業務の該当項目に■で塗り潰して下さい。

3. 実務実績3件は、登録更新申請時から20年間遡ることができます。

4. 前回申請した実務実績と異なる場合は「様式4」も記入して下さい。

氏名	建築 太郎
専攻領域	
1	
2	
3	

法令	業務(プロジェクト)名 民間確認検査機関の確認業務	実務内容 ■確認検査(100件/年) □性能評価等()件 □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等 □建築相談 () □その他 ()
	プロジェクト概要	
	担当期間 2002年1月 2002年12月(12ヶ月)	
	役割 □責任ある立場 ■担当者	専門分野名 建築確認・検査
2	業務(プロジェクト)名 特定行政庁業務	実務内容 □確認検査()件/年 □性能評価等()件 □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等 □建築相談 () ■その他 (定期調査報告、定期検査報告、道路位置指定等)
	プロジェクト概要	
	担当期間 2002年11月 2004年2月(16ヶ月)	
	役割 □責任ある立場 ■担当者	専門分野名
3	業務(プロジェクト)名 住宅性能表示審査	実務内容 □確認検査()件/年 ■性能評価等(120件) □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等 □建築相談 () □その他 ()
	プロジェクト概要	
	担当期間 2004年3月 2005年7月(17ヶ月)	
	役割 ■責任ある立場 □担当者	専門分野名 性能評価

□添付可能な写真があれば添付して下さい。

責任ある立場での実務実績3件申請書(様式3-1 教育研究)

注意 1. 1枚に1専攻のみを記入。

2. 業務の該当項目に■で塗り潰して下さい。

3. 実務実績3件は、登録更新申請時から20年間遡ることができます。

4. 前回申請した実務実績と異なる場合は「様式4」も記入して下さい。

氏名	建築 太郎
専攻領域	
1	
2	
3	

教育研究	業務(プロジェクト)名 日本建築学会 〇〇〇〇年近畿大会発表	実務内容 <input type="checkbox"/> 常勤講座 (講座時間 分 回/年) <input type="checkbox"/> 研究・調査・開発 循環型社会における建築士の役割 <input type="checkbox"/> プロジェクト概要 <input type="checkbox"/> 学位論文 (1 . 修士 2 . 博士) <input type="checkbox"/> その他 (1 . 修士 2 . 博士)
	担当期間 2005年1月 2005年3月(3ヶ月)	
	役割 <input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名
2	業務(プロジェクト)名 建築計画概論、建築史	実務内容 <input type="checkbox"/> 常勤講座 (講座時間 90分 50回/年) <input type="checkbox"/> 研究・調査・開発 <input type="checkbox"/> プロジェクト概要 <input type="checkbox"/> 学位論文 (1 . 修士 2 . 博士) <input type="checkbox"/> その他 (1 . 修士 2 . 博士)
	担当期間 2005年4月 2006年3月(12ヶ月)	
	役割 <input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名 建築計画、建築史
3	業務(プロジェクト)名 建築材料の調査研究	実務内容 <input type="checkbox"/> 常勤講座 (講座時間 分 回/年) <input checked="" type="checkbox"/> 研究・調査・開発 新材料の防火性能の分析調査 <input type="checkbox"/> プロジェクト概要 <input type="checkbox"/> 学位論文 (1 . 修士 2 . 博士) <input type="checkbox"/> その他 (1 . 修士 2 . 博士)
	担当期間 2004年3月 2005年7月(17ヶ月)	
	役割 <input type="checkbox"/> 責任ある立場 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者	専門分野名

添付可能な写真があれば添付して下さい。

専攻建築士制度登録の更新に係わるCPD単位緩和申請書(様式3-2)

専攻領域: **設 計**

氏 名: **建 築 太 郎**

注意: CPD単位の緩和の申請、履行誓約をする方のみ提出が必要になります。

私は、専攻建築士登録の更新に際し以下の理由によりCPD単位の緩和を申請いたします。

■CPD単位免除の理由(下記より該当する記号を選び、○を付けて下さい。)

1. 30年以上の実務経験を持ち、下記の理由により十分な実績を有していると思えるため。
2. 長期にわたり病床にあり、CPDを実施することが特に困難であったため。
3. 各専攻領域において、認定される該当資格の取得、または更新を行ったため。

■該当する理由を具体的に記述して下さい。

◆上記の1. を選択した場合

一級建築士登録後の概ねの実務従事期間 西暦 年 月 ~ 年 月 (年間)

実務の詳細は、様式3にて申請いただきますが、ご自身でCPD緩和に相当すると思われる程、十分な実績を有していると考え理由について記述して下さい。(100字程度)

下記欄に書ききれない場合は、適宜用紙を追加し、説明して下さい。資料等の添付も可とします。

◆上記の2. を選択した場合

病床にあった期間: 西暦 年 月 ~ 年 月 (年間)

CPDを実施することが特に困難であった。

◆上記の3. を選択した場合

取得または、更新した当該資格(当該資格者証の写しを添付して下さい。)

名称: _____ 西暦 年 月 (取得・更新)

■建築士会継続能力開発(CPD)単位、定期講習・特別認定講習 履修誓約書

私は、専攻建築士制度登録更新に必要なCPD単位又は、定期講習・特別認定講習を登録更新日までに履修いたします。

平成21年11月

申請者氏名(自署 **建 築 太 郎**)



まちづくり専攻建築士更新申請用
責任ある立場での実務実績(様式4-まち)
(No.)

氏名	建築 太郎
専門分野	

- 注意 1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で記入して下さい。
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に1件以上記入して下さい。

プロジェクト名称	〇〇地区まちなみ景観整備基本計画			
実務業務	都市計画		再開発事業	区画整理事業
	開発行為		まちづくり活動	
	<input checked="" type="radio"/> その他 景観・まちなみ			
依頼者・発注者	〇〇市役所〇〇課			
プロジェクト期間	2007年 6 月 ~		2008年 7月	13 ヶ月
担当期間	2007年 6 月 ~		2008年 7月	ヶ月
対象地区の概要	所在地	〇〇市〇〇地区		
	面積	22.5 ha		
	地域特徴	〇〇市〇〇地区は、幅員8m程で、延長約1.5kmの県道に商店街が軒を並べる中心市街地であり、伝統的町屋が多く残る歴史的環境をそなえている地区である。		
	関係団体名	〇〇町内会、〇〇商店街組合、〇〇商工会議所まちづくり委員会		
事業の背景・必要性、事業の成果				
<p>〇〇市〇〇地区は、徒歩で30分程度の通り沿いで歴史・産業・自然・文化など多数の魅力あふれる資源に触れることができる。しかし、近年の人口減少、購買客の域外流出などにより、空屋・空店舗・空地が目立つようになり、賑わいを失っている。そこで、身近にある「歴史を活かし」、市街地を「歩いて楽しいまち」として整備するべく、ワークショップなどを通じて地区住民と協働し、実現性の高い計画を策定した。</p>				
携わった立場	<input checked="" type="radio"/> 業務受託		学術調査・研究	ボランティア
	その他()			
自身が果たした役割				
<p>〇〇商工会議所の協力を得て、町内会、商店街組合、市役所関係課などで構成される〇〇地区まちづくり委員会を組織し、そこで「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」へ向けての方策を協働で検討するワークショップを企画・運営し、計画としてまとめるコーディネーターの役割を担った。</p>				
<p>業務の特徴を表す資料貼付欄(または別添)</p> <p>(貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等 いずれでも構いません。)</p>				
※審査			※認定	

設計専攻建築士申請用

責任ある立場での実務実績（様式4－設計・構造・環境）

(No.)

※専攻領域に○印願います。

氏名	建築 太郎
専門分野	

- 注意 1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
 2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で記入して下さい。
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に1件以上記入して下さい。

プロジェクト名称	〇〇邸及びマンション新築工事										
業務内容	企画設計	<input type="radio"/>	基本設計	<input type="radio"/>	構造設計	<input type="radio"/>	実施設計	<input type="radio"/>	工事監理		
	その他()										
主な業務種別	空調設備				給排水衛生設備				電気設備		
担当期間	2008年4月 ~					2009年2月			22 ヶ月		
担当業務の役割	構造設計・監理業務										
所在地	〇〇市〇〇区〇〇3丁目										
建築主	〇〇〇〇										
発注者	〇〇〇〇建築デザイン事務所										
施工者名称											
施工者所在地											
構造	<input type="radio"/>	RC造	<input type="radio"/>	S造	<input type="radio"/>	SRC造	<input type="radio"/>	木造			
敷地面積					m ²	延べ床面積			267 m ²		
階数	地上				9 階		地下			1 階	
用途	集合住宅										
建築確認	平成〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇 号		建築主事		〇〇〇〇〇		
検査済証	平成〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇 号		建築主事		〇〇〇〇〇		
自身が担当した業務	<p>市街地の住宅団地における高層住棟。 桁方向ラーメン、スパン方向耐震壁付ラーメン構造柱フープ、梁スターラップ(基礎除く)に溶接フープ、スターラップを用いている。計画から施工監理まで、構造担当として業務を行った。</p>										
設計(構造・設備)計画上の特徴											
写真等貼付欄(または別添)	(貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。)										
※審査						※認定					

生産専攻建築士申請用

責任ある立場での実務実績(様式4-**生産**・棟梁)

(No.)

※専攻領域に○印願います。

氏名	建築 太郎
限定表示	
専門分野	

- 注意 1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
 2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で記入して下さい。
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に1件以上記入して下さい。

プロジェクト名称	〇〇集合住宅新築工事										
主な業務種別	<input checked="" type="checkbox"/>	施工管理	<input checked="" type="checkbox"/>	品質・技術	<input checked="" type="checkbox"/>	工程	<input checked="" type="checkbox"/>	コスト	<input checked="" type="checkbox"/>	安全	
		積算		PM		CM	<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理業務			
		改修・リフォーム		診断		その他()					
業務内容	建築施工管理										
担当期間	2004年5月 ~					2005年5月 13ヶ月					
担当業務の役割	現場責任者										
所在地	〇〇市〇〇町1-2-3										
建築主	〇〇〇〇										
設計者名称	建築惣一郎工務店										
設計者所在地	港区〇〇3-2-1										
構造	<input checked="" type="checkbox"/>	RC造		S造		SRC造		木造			
敷地面積						m ²	延べ床面積	2.815 m ²			
階数	地上		3階			地下		階			
用途	集合住宅										
竣工年月日	年		月			日					
監理技術者名	建築 太郎										
<p>専門分野を確認 できる具体的 業務内容</p> <p>企画段階のクライアントに対するプレゼン、地元住民に対して工事説明会や近隣対策、〇〇区担当者や別途発注業者との定例会議や工程打ち合わせ、朝礼・KY活動・施工図作成・受け入れ及び工程検査・工程表の作成及びフォローアップ・予算書の作成などの現場管理(安全・品質・工程・予算)を行った。</p>											
<p>写真等貼付欄(または別添)</p> <p>(貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。)</p>											
技術習得機関名											
※審査					※認定						

法令専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績(様式4-法令)
(No.)

氏名	建築 太郎
専門分野	

- 注意1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
 2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で記入して下さい。
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に1件以上記入して下さい。
 3. 関連資格(建築基準適合判定資格者・検査員・評価員等)に関する証明は、別紙添付して下さい。

関連資格	<input type="radio"/> 建築主事	<input type="radio"/> 建築基準適合判定資格者	その他()				
主要な業務	確認検査業務		住宅性能評価業務				
	<input type="radio"/>	裁判所(民事調停委員、民事鑑定委員、民事鑑定人)支援業務					
	<input type="radio"/>	行政(建築工事紛争委員会委員、建築士審査会、建築審査会)支援業務					
	建築士会の建物相談(法令に関する)等の実績						
担当期間	年	月	～	年	月	～	ケ月
担当業務の役割	指導課係長						
実務経歴内容	<ul style="list-style-type: none"> ・<input type="radio"/><input type="radio"/>市建築指導課係長 建築確認審査業務(<input type="radio"/><input type="radio"/>担当) <input type="radio"/><input type="radio"/>件/年 × <input type="radio"/>年 「木造3階:<input type="radio"/><input type="radio"/>件+非木造:<input type="radio"/><input type="radio"/>件」 ・中間検査(建築基準法 第7条の3項) <input type="radio"/><input type="radio"/>件/年 × <input type="radio"/>年 ・<input type="radio"/><input type="radio"/>民間確認期間 建築基準検査員 <input type="radio"/><input type="radio"/>件/年 の中間検査及び完了検査 住宅性能評価 評価員 <input type="radio"/><input type="radio"/>件/年 の評価業務 ・<input type="radio"/><input type="radio"/>裁判所より民事調停員の任命を受ける <ol style="list-style-type: none"> 1. 第<input type="radio"/><input type="radio"/>号の建築紛争調停を担当 2. 第<input type="radio"/><input type="radio"/>号の建築紛争調停を担当 3. 第<input type="radio"/><input type="radio"/>号の建築紛争調停を担当 						
※審査				※認定			

教育研究専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績(様式4-教研)
(No.)

氏名	建築 太郎
専門分野	

- 注意1. この申請書は、記入前にコピーし、実務実績の項目、内容毎に別の申請用紙にNo.をつけて下さい。
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で記入して下さい。
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に1件以上の実務実績項目と内容を記入して下さい。

職名	准教授				
実務内容	常勤講座	(講座時間 分 回/)			
	<input checked="" type="radio"/>	教育機関において講座を担当			
	研究・調査・開発	()			
	プロジェクトの概要	()			
	学位論文		1、修士		2、博士
	その他				
実務経歴機関		年 月 ~	年 月		ヶ月
実務実績の内容 (※上記の実務実績の項目ごとに1枚記入してください)					
<p>担当講座: 建築設計演習 対象学年: 学部1年生 履修条件: 必修科目 <講義概要> 建築空間を創造していくための知識や手法の習得を目標とする。人間の生活を見つめ直し、住まいに不可欠な要因である機能性、快適性などを考察し、それにふさわしい建物をイメージ出来るよう導き、それと同時に、それらを表現伝達する手段を講義していく。建築設計能力の初期段階として、身の回りにある住居内の小空間から、順次居住空間全体に拡大して空間を把握し、造形的な想像力とスケールに対する感覚を養い、空間を創造する手法と設計の手順を講義する。</p>					
※審査			※認定		

CPD単位確認書 ※必要単位を満たしていますか。(様式5)

注意 1. CPD単位の集計表です。必要単位数を提出して下さい。

2. この書類では単位申請できません。『CPD単位換算表』を参照の上、

別紙「CPDプログラム認定申請書」にて申請して下さい。

会員番号	100000
氏名	建築 太郎
対象期間	2004年11月～2009年10月

継続能力開発の種別		研修内容	単位換算方法	単位数	認定									
■CPD個人実績表		データ登録済の単位数…個人実績表を添付して下さい。〈うち実務 15単位〉		95										
■CPD手帳単位		CPD手帳又は貼付シートの未登録バーコード単位		12										
■今回プログラム認定申請書で申請するCPD単位合計				37										
1 活動型 研修	1.1 社会貢献活動型	住宅相談、まちづくり活動、応急危険度判定、行政支援活動、裁判所調停委員等、住教育支援など	活動時間×2	12										
	1.2 情報提供型	講習会講師、各種講演、論文発表(論文作成は実務実績)等	活動時間×2	0										
	1.3 委員会活動型	各種委員会、審査会など(他団体を含む)	1回(2時間)1単位。	5										
2 参加型 研修	2.1 認定研修	特別認定研修(指定講習など)	受講時間×2	20										
		認定研修(特別認定以外の公益法人等主催の講習会)	受講時間×1											
	2.2 他講習会、見学会、社内研修等	認定研修以外の講習会、講演会、視察旅行等、社内研修等	参加時間×1(目安:一日6単位、2時間未満は2単位) (印刷物などの事実を証明できる資料が必要) ・展示会は一律1単位。海外視察は1日2単位/出帰国日は単位認定外											
3 自習型 研修	3.1 認定教材による研修	雑誌記事・連載講座 (指定する建築関連記事等については、10頁あたり1単位。単発の特集記事は50頁あたり1単位を原則として、内容により加減。)	・会誌、下記雑誌等の認定講座には単位バーコードが掲載されています。(連続講座は最終号に掲載) ・日経アーキテクチャー、日経ホームビルダー、建築技術、建築知識、新建築、彰国社の認定講座は個別に単位認定	0										
		認定図書	プログラム評議会にて個別認定(内容と頁数により、1～5単位で認定)											
■今回専攻申請書3-1、添付資料等で申請する実務によるCPD単位の合計				120										
4 実務 による CPD	加点による単位	資格の取得、雑誌・本の執筆 (地域貢献活動・裁判所・住宅相談・執筆等は、実務状況に併せ、研修・実務いずれか一方での申請可。)	・国家資格:10単位、民間資格:5単位 ・博士号取得:20単位 ・本執筆(10、共同執筆5) 雑誌(2、10頁以上4単位) ・コンペ(応募:5 入賞:10) ・展示会展出:2単位 ・非常勤講師 1講座5単位(半年) その他	10										
		業務期間	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	月数										
	実務期間による単位	2004年	[斜線]										2	
		2005年	[斜線]										10	
		2006年	[斜線]										9	
		2007年	[斜線]										12	
		2008年	[斜線]										12	
	2009年	[斜線]										10		
各年ごとに業務を行った月のセルに色・棒線をつけ、月数の欄に月数の合計を記入											小計	55		
											小計×2単位	110		
合計 (右に特記事項等記入)					264									
					/200									

※審査欄			
------	--	--	--

専攻建築士審査・登録更新申請書（様式6）

氏名	建築 太郎
----	-------

申請書類確認書

申請者 チェック欄	様式名	書類名・内容	備考	登録更新
✓	様式1	審査・登録更新申請書(誓約書)	顔写真1枚貼付	①②③④
✓	様式2	審査・登録更新申請書(一般事項)	顔写真1枚貼付	①②③④
✓	様式3	審査・登録更新申請書(免許取得後30年超の職務経歴)		②③
✓	様式3-1	審査・登録更新申請書(責任ある立場での実務実績3件)(領域別)		①②③④
	様式3-2	更新に係わるCPD単位緩和申請書		②③
✓	様式4	審査・登録更新申請書(責任ある立場での実務実績・追加用(領域別))		(①②③④)
✓	様式5	CPD単位確認書		①④
✓	様式6	審査・登録更新申請書(書類確認書・払込貼付書)		①②③④
	添付書類	他資格者証の写し(有効期限内のもの)	資格 枚	
✓	添付書類	建築士会継続能力開発(CPD)実績証明書		①②③④
✓	添付書類	CPDプログラム申請書(研修・委員会・実務実績)	3枚	

登録更新申請フロー図にて、申請パターン(①~④)をご確認下さい。

■手数料払込内訳

※該当する箇所に○印を付け、合計金額を記入してください。

1. 申請料	<input type="radio"/>	1専攻領域更新申請 16,800円	※内訳 専攻登録料 6300円+1領域審査料10500円 (1専攻領域追加毎に10,500円を加算して下さい。)
	<input type="radio"/>	2専攻領域更新申請 27,300円	
	<input type="radio"/>	3専攻領域更新申請 37,800円	
2. 合計金額		16,800 円	

審査・登録更新申請手数料の払込証明書(写し)貼付欄

振込口座

■郵便振替：01010-9-21890

■名義： 社団法人滋賀県建築士会